

第4学年3組 国語科学習指導案

単元名：われら東小新聞社！～教えます！わたしたちのすてきなところ～
「みんなで新聞を作ろう」

男子 15 名 女子 16 名 計 31 名

指導者 三國 友香

単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領国語科第3学年及び第4学年、「B書くこと」の指導事項「イ 文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。」「ウ 書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。」の内容を受けて設定したものである。本単元では、学習指導要領の言語活動例（2）「イ 疑問に思ったことを調べて、報告する文章を書いたり、学級新聞などに表したりすること。」を基に、学級のよさを新聞にまとめ、他の学級に紹介する言語活動を位置付ける。

児童はこれまでに、レポートを書く活動を通して、調べて分かったことを分かりやすく整理して書く学習をしてきているが、新聞を書くことは初めての学習である。本単元では、新聞の形式に沿って記事の内容が伝わりやすい構成を選択する力を身に付けることをねらいとしている。また、目的に応じて収集した事例について必要なことを押さえて記述する力を身に付けさせることもねらいとしている。

新聞記事を読み合うことは、同じテーマの記事でも、伝えたいことによって記事の内容や見出し、資料は異なり、自分と友だちの記事を読み比べて、ものの見方や考え方の違いに気付くことができ、今後の学習に生かすことができると考えられる。

- 児童は、第3学年には、「調べて書こう、私のレポート」の単元で、調べて分かったことを分かりやすく整理して書く学習を行った。しかし、見出しや割り付けを含めた新聞を書く学習は今回が初めてである。

本学級の児童は、4月に行った「海田町標準学力調査」において、「自分の考えが明確になるよう、段落相互の関係を考えて書くことができる。」の通過率は80.2%と、全国平均と比べ高かった。しかし、日頃の児童の学習の様子を見ると、書こうという意欲はあるものの、書きたいことの中心が明確にならない児童も多い。また、普段の日記においても、5W1Hがあいまいで、事実が明確になっていない児童もいる。

○課題を発見・解決する力

課題の設定においては、4年生になってからこれまでの出来事を思い出し、その中には、それぞれの学級でしか体験できていない出来事もあり、お互いの学級の出来事を伝える新聞作りへとつなげていく。自分たちの学級のことを紹介するために、どんなことを記事にしたいか、記事の内容に興味をもたせながら新聞づくりについて学ばせていきたい。導入では、見出しや写真がある新聞と、見出しも写真もない文章のみの新聞を見比べさせ、見出しや写真など、新聞を構成する要素の必要性に気付かせる。また、新聞を教室に掲示し、日常的に見出しや写真などの構成に関心をもたせておく。

○深く考える力

本単元で付けたい主な思考力は、多面的に物事を捉え、記事を書く力である。自分の考えや取材したことについて、思考ツールの「くま手チャート」を用いて5W1Hを捉えさせる。くま手チャートに、取材に欠かせない視点を書き込んでいくことで、必要な情報を漏れなく取材で集められるように

する。また、ちがう立場の人に取材をしたり、複数の質問をするなど、取材を通して出来事を多面的に思考する力も付けたい。

新聞の2つのモデルを読み比べる学習では、比較して考えさせることで読み手に記事の内容が伝わりやすい構成に気付かせたい。見出しを付けたり資料を添えたりすることは、記事の内容を伝えるのに効果的である。新聞記事を書く中で、相手意識をもって興味を引くために工夫させたい。

○自己を理解する力

課題設定の段階において、単元のゴールを明確にするとともに読み手に伝わりやすい記事に欠かさないものを考える必要があることに気付かせる。その力を付けるためにどのような学習をしていけばよいかを話し合いながら、新聞作りを通して、どんな力を付けたらよいかを児童とともに考え、単元終了時のゴールの見通しをもたせる。学習内容や付けたい力を提示し、随時活用することで児童が見通しや目的意識をもって学習に取り組めるようにしたい。単元の振り返りの段階では、新聞を他学級と交流し、友だちの表現のよさや工夫に気付かせたい。学びのモニタリングの時間では、作品や友だちからの評価やノートなどをもとに、単元のはじめに立てたゴールの見通しの視点で自らの学びや学び方を振り返る。その中で、それぞれの記事のよさや表現の違いに気付かせ、今後の学習意欲につなげていきたい。

単元の目標及び内容について

- 新聞の特徴をとらえ、調べたことをもとに進んで新聞を作ろうとする。
【関心・意欲・態度】
- 新聞の形式を理解し、読み手に伝えたいことが明確になるように全体の構成を考えることができる。
【書くこと イ】
- 読み手に伝えたいことを明確にし、読み手が分かりやすいように自分の体験や取材の結果について記事を書くことができる。
【書くこと ウ】
- 言葉には、考えたことを表す働きがあることに気付き、記事を書いている。
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

単元の評価規準

| 国語への関心・意欲・態度 | 書く能力 | 言語についての知識・理解・技能 |
|---|---|------------------------------------|
| 【単元を貫く言語活動】学級のよさや取り組みなどを他の学級にも知ってもらうために新聞記事を書く。 | | |
| 新聞の特徴をとらえ、調べたことをもとに進んで新聞を作ろうとしている。 | 新聞の形式を理解し、読み手に伝えたいことが明確になるように全体の構成を考えている。 読み手に伝えたいことを明確にし、読み手が分かりやすいように自分の体験や取材の結果について多面的に捉え、記事を書いている。 | 言葉には、考えたことを表す働きがあることに気付き、記事を書いている。 |

指導と評価の計画

全9時間

| 次 | 時 | 学習活動 | 評価 | | | | |
|---|---|---|----|---|---|---|----------------|
| | | | 関 | 書 | 言 | 評価規準 | 評価方法 |
| 一 | 1 | 課題の設定（1） ○学級のよさを伝える新聞を作るという学習課題をもち、学習計画を立てる。 ・単元で付けたい力について考え、ゴールの見通しをもち、学習計画を立てる。 | ○ | | | ・学級の新聞を作ること に意欲をもとう としている。 | 行動観察 |
| | 2 | 情報の収集（3） ○新聞のモデルを読み、分かりやすい新聞の工夫を見付ける。 ・記事の内容や見出しの工夫、資料の使い方などの構成の工夫について確認する。 ・新聞作りの手順を確かめる。 | | ○ | | ・分かりやすい新聞の工夫である見出しや資料の使い方などの新聞の形式が分かる。 ・取材で相手から聞いた言葉を表す表現や、様子を伝える表現が分かる。 | 行動観察 ワークシート |
| | 3 | ○新聞作りの計画を立てる。 ・自分たちのグループの新聞で取り上げたいことについて考える。 ・グループで記事にしたい事柄を話し合い、それぞれの記事の担当を決める。 | ○ | | | ・記事の内容を決め、取材の仕方について計画を立てようとしている。 | 行動観察 ノート |
| 二 | 4 | ○自分が担当する記事の内容を考えたり、取材の準備をしたりする。 ・記事を書くために集めたい情報を考え、くま手チャートに書き込んで取材メモを作る。 ・取材する内容や方法を整理する。 | | ○ | | ・記事に必要な情報を分類するために、くま手チャートを使って分類する準備ができている。 | 行動観察 ワークシート |
| | 5 | 整理・分析（2） ○取材して集めた情報から記事に載せる情報を選択し、記事の下書きを書く。 ・くま手チャートをグループで読み合い、記事に載せる情報を選択する。 ・くま手図を使って、5W1Hを落とさないように記事を書く。 【本時】 | | ○ | | ・読み手に伝えたいことが分かりやすいように「いつ」「どこで」「だれが」「どうした」を明確にしながら自分の体験や取材の結果について記事を書いている。 | |

集めた新聞を読む。

取材を行う。

| 次 | 時 | 学習活動 | 評 価 | | | | |
|---|---|--|-----|---|---|--|----------------|
| | | | 関 | 書 | 言 | 評価規準 | 評価方法 |
| 二 | 6 | <ul style="list-style-type: none"> ○記事の下書きをグループで読み合い、修正する。 ・読み手に分かりやすい書き方ができているか、伝えたいことが明確になっているかなどグループで確認し合う。 ・グループで出た意見をもとに修正を行う。 | | | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・見出しや資料の効果を考えて、読み手に記事の内容が伝わりやすい構成になっているか確認をしている。 | 行動観察 ワークシート |
| | 7 | <p>まとめ・創造・表現（２）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○記事の割り付けを考える。 ・グループで話し合いながら、それぞれの記事の割り付けを決める。 ・新聞の題名を決める。 | | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・新聞の形式を理解し、全体の構成や新聞の題名を考えている。 | 行動観察 ノート |
| | 8 | <ul style="list-style-type: none"> ○記事の清書を行う。 ・決定した割り付けに合うように自分の記事を清書し、仕上げる。 | | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・見出しや資料の効果を考えて、読み手に記事の内容が伝わりやすい構成になっているか確認しながら清書している。 | 行動観察 カード |
| 三 | 9 | <p>振り返り（１）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○作品を交流し合う。 ・学級同士で新聞を読み合い、自分と友達のものの見方や考え方の違いを知り、作品の評価を付箋に書く。 <p>学びのモニタリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自らの学びや学び方を振り返る。 ・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点でノートや作品を基に自らの学びを振り返る。 | ○ | | | <ul style="list-style-type: none"> ・自分と友だちの記事を読み比べて、よさや同じ事柄でも記事の内容や見出しの書き方に違いがあることに気付こうとしている。 | 行動観察 ワークシート |

本時の学習

(1) 本時の目標

- 読み手に伝えたいことが分かりやすい記事を書くことができる。

(2) 本時の評価規準

- 「いつ」「どこで」「だれが」「どうした」を明確にし、会話文や様子の説明を入れ、読み手に出来事の様子が伝わりやすい記事を書いている。 【書く能力】

(3) 本時の学習展開（5時間目／全9時間）

| 学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫 | ◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て | 評価規準〔観点〕 （評価方法） ◎本時で付けたい力 ☆育成したい資質・能力 |
|--|--|--|
| 1 本時の課題を確認する。 めあて | ◇取材メモを読み直し、前時までに見つけた工夫を用いながら分かりやすい記事を書くという学習の見通しをもたせる。 | |
| 学級の出来事の様子が伝わる新聞記事の下書きを工夫して書こう。 | | |
| <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; display: inline-block;">本時のゴールの見通し</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>A：複数のいろいろな立場の意見を取り上げて、出来事の様子がより伝わりやすい記事を書いている。</p> <p>B：出来事を、「いつ」「どこで」「だれが」「どうした」と、取材した人が話していた言葉や様子の説明を入れて、伝わりやすく書いている。</p> </div> | | |
| 2 取材したことの中から、記事に載せたい情報をグループで選ぶ。 ○分かりやすい記事にするための情報は何だったでしょう。 ・「いつ」「どこで」「だれが」「どうした」を入れると、出来事がよく伝わる。 ・会話文を入れたり、様子を説明したりすると、さらによく伝わる。 ○自分が取材で集めた情報の中から、分かりやすい記事にするために入れるとよい情報を選びましょう。 ・〇〇さんの感想は、プールを楽しみにしている様子がよく伝わるから載せたほうがいいね。 ・楽しみなだけではなく「怖い」「不安」と感じている人もいることを伝えたらおもしろそうだね。 | ◇前時までの学習内容を振り返らせ、記事を書くときのポイントを確認する。 ◇グループでお互いの取材メモを読み合い、記事に入れたい情報を選ばせる。 | |

| <p>学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫</p> | <p>◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p> | <p>評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力 ☆育成したい資質・能力</p> |
|---|---|---|
| <p>□思考の場の工夫多面的に見る 記事にしたい出来事を、くま手チャートに設定した視点で情報を整理する。</p> <p>3 グループ交流の様子を全体で交流する。 ○グループで情報を選ぶときに、気を付けたことはどんなことですか。 ・友だちだけではなく先生などの色々な立場の人の意見を入れると、様子がくわしく伝わると思った。 ・プールを「楽しい」と思う意見だけではなくて、「こわい」と思う意見もあった。どちらも記事に入れることにした。</p> <p>4 取材メモをもとに、記事の下書きを書く。 ○グループで選んだ情報や、全体交流で出た意見をもとにして記事を書いていきましょう。 ・○○さんの意見の視点は、他の人と少し違う。記事に入れてみよう。 ・子どもだけではなくて、先生に取材したことも入れて書こう。</p> <p>5 本時の学習をまとめる。</p> | <p>◇グループで選んだ情報を、人物や会話文に着目させて考えさせる。 ◇多面的な情報を選ぶよさを考えさせる。</p> <p>◇くま手チャートから選択した情報がすべて入るように工夫しながら、記事を書かせる。 ◇さまざまな視点や異なった立場の意見が入るよう声かけをする。 ◆文型を書いた穴埋め式のカードを用い、5W1Hの情報が漏れなく入るように文章を書かせるようにする。</p> <p>◇伝わりやすい文章にするために、どんな情報を記事に入れたかをまとめるようにする。</p> | <p>☆読み手に伝えたいことを明確にして出来事を多面的に捉えている。</p> <p>◎「いつ」「どこで」「だれが」「どうした」を明確にし、会話文や様子の説明を入れ、読み手に出来事の様子様子が伝わりやすい記事を書いている。 〔書く能力〕 (行動観察・ワークシート)</p> |
| <p>★めざす児童の姿 「いつ」「どこで」「だれが」「どうした」を入れて、出来事を説明することができた。プールを「楽しい」と思う人や「こわい」と思う人がいたので、どちらの意見も入れて記事を書いた。</p> | | |
| | <p>◇次時は、本時で書いた記事をグループで読みあい、確認、修正を行うことを伝える。</p> | |

(4) 板書計画

われら東小新聞社！
く教えます！わたしたちのすてきなところく
めあて
学級の出来事の様子が伝わる新聞記事の下書きを工夫して書こう。

ゴール
○「いつ」「どこで」「だれが」「どうした」や、会話や説明を入れて記事を書くことができた。
◎色々な立場の人やちがう思いの人の意見を入れて、くわしく伝わる記事を書くことができた。

出来事

- ・「いつ」「どこで」「だれが」「どうした」
- ・様子の説明
- ・会話

+

- ・色々な立場の人の意見
- ・「楽しい」「ちがう思い」

まとめ

「いつ」「どこで」「だれが」「どうした」を入れて、出来事を説明することができた。プールを「楽しい」と思う人や「こわい」と思う人がいたので、どちらの意見も入れて記事を書いた。

〈参考〉 学びのモニタリング

海田東小 学びのモニタリング

われら東小新聞社！
く教えます！わたしたちのすてきなところく
「みんなで新聞を作ろう」

四年 組 番 ()

①読む人が分かりやすい記事にするために、取材したことをもとに記事を書くことができた。

| | | | | | |
|---|-----|------|-----|-----|------|
| 5 | とても | まあまあ | ふつう | あまり | まったく |
| 4 | とても | まあまあ | ふつう | あまり | まったく |
| 3 | とても | まあまあ | ふつう | あまり | まったく |
| 2 | とても | まあまあ | ふつう | あまり | まったく |
| 1 | とても | まあまあ | ふつう | あまり | まったく |

②読む人に出来事のようにくわしく伝わるような記事を書くことができた。

| | | | | | |
|---|-----|------|-----|-----|------|
| 5 | とても | まあまあ | ふつう | あまり | まったく |
| 4 | とても | まあまあ | ふつう | あまり | まったく |
| 3 | とても | まあまあ | ふつう | あまり | まったく |
| 2 | とても | まあまあ | ふつう | あまり | まったく |
| 1 | とても | まあまあ | ふつう | あまり | まったく |

③これまでの自分の国語の学習のようすをくわしく振り返り、感想を書きましょ。

学び方について

自分が成長したこと

課題や次の目標